平成２５年度　第１回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会（会議概要）

* 日　　時　　平成２５年８月２１日（月）午後２時から
* 会　　場　　鶴岡市役所　３階　市議会委員会室
* 次　　第　　１．開会　２．委嘱状交付　３．挨拶

４．報告（１）平成２４年度鶴岡市一般廃棄物の実績について

　　　　（２）平成２５年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行について

５．その他　６．閉会

○委員出席者　　鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員１１名（名簿別添のとおり）

○市側出席者　　市民部長、市民部参事（兼）廃棄物対策課長、

各庁舎市民福祉課長、廃棄物対策課職員　１３名（名簿別添のとおり）

（午後２時開会）

１．開会

　市民部参事

　　　ただ今から、平成２５年度第１回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

２．委嘱状交付

　市民部参事

　　　会議に先立ちまして、役員交代や、人事異動に伴い新たに審議会委員になられ

　　ます皆様方に委嘱状の交付をさせていただきます。

　　　・板垣久喜（藤島地区衛生組織連合会会長）・小林志郎（羽黒地区衛生組織連合会会長）の２名に委嘱状を交付した。・相澤栄司(庄内総合支庁環境課長)

　　　・五十嵐俊司（温海地区衛生組織連合会会長）・佐藤篤行（㈱エーコープ庄内管理部長）の３名については欠席のため紹介のみ行う。

３．挨　拶

　　　市民部長・審議会会長（内容省略）

　　　課長補佐

　　　　（委員の出席状況報告・配布資料の説明）

４．報　告

　（１）平成２４年度鶴岡市一般廃棄物の実績について

　　　課長補佐・リサイクル推進主査・リサイクル推進係長・リサイクル推進係主任

　　　　（平成２４年度鶴岡市一般廃棄物の実績について　説明省略）

　　　委員

　　　　　耐用年数がきている焼却施設の更新について、ただ単なる焼却施設でなく、

　　　　新しい施設建設の際は、熱量を利用した発電施設も備えたらどうか。

　　　　　熱量のある施設を建設すれば、不燃ごみや生ごみの分別についても簡素化になるし、労力もかからないのではと思っています。長期に渡っての計画を出してもらわないと、予算がないからと言わないで最終的にいいものを造れば、それなり効率も図れるし、たとえば、焼却施設から得られる熱量による電力を

　　　　近くの工業団地だけにでも送電するというような考え方を持ってもらいたい。そうすることによって、企業も停滞せず、東北電力よりも鶴岡市からの電力の方がいいと企業が参入することになると思います。発電と送電の分離について、鶴岡市が率先して取り組んでいただきたい。

　　　市民部参事

　　　　　昨年度の長寿命化計画では、焼却施設内の基幹的な部分を入れ替えるよりは、新しい施設の建設を検討するべきではないかという結論でありましたので、これを受けて今年度「循環型社会形成推進地域計画」と「熱回収施設整備基本構想」の２つについて策定を進めているところです。

　　　　　地域計画では、過去のごみ量の実績やリサイクルの実績などを検証し、将来の人口推計なども踏まえまして、今後のごみ量、リサイクル率などのまと計画をまとめたいと考えています。

　　　　　そういう意味から、委員からご提言ありました有効な活用といいますか、

　　　　市民から理解を得られるような普及・啓発を含めましてどういったあり方が最適か、検討してまいりたいと思いますし、国の方針としましても単なる廃棄物処理施設ではなく、「熱回収施設」という呼び方となっています。

　　　　　どのような方式の焼却炉がよいのか、委員の発言にありました発電も含めまして方向性について、今年度構想としてまとめたいと考えています。

　　　　　現在のクリーンセンターでは毎月７・８百万円の電気料金を支払っていることから、せめて施設の電気は自前で賄えないかと考えていますし、余力があれば他への売電ということも検討したいと思っております。

　　　　　売電量が２千ｋｗを超えますと設備にかなり費用が掛かることのメリット、デメリットも含め今年度検討したいと考えています。

　　　　　ごみの分別指導につきましては、日時、場所、人数を問わず相談や指導を継続して行ってまいりますし、早朝の立哨指導についても行ってまいります

　　　　ので、今後ともご指導をお願いいたします。

　　　委員

　　　　　外国と比べると発電と送電の分離をしないため、非常におかしな電力料金になっていますので、電力会社からの圧力から負けないで、ぜひ鶴岡から発電と送電の分離を発進してほしいと思います。

市民部参事

　　　　　今年度は、基本構想ということですので、結果、ご期待に添えるかどうかにつきましては、今後の検討ということになりますので、ご承知おきを、いただきたいと思います。ただ、せっかくの機会でございますので、鶴岡市民、

　　　　企業もふくめまして、総合的に検討してもらいたいと考えています。

　　 委員

　　　　 世界の電力料金で一番高い料金をとって、至れり尽くせりのようにみえるが、

　　　 取り放題とっているのが、電力会社の実態なのです。みんな国民も市民も知っているわけですから、ぜひお願いしたいと思います。

　（２）平成２５年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行について

　　　市民部参事

　　　　（平成２５年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行について説明省略）

　　　委員

　　　　　生ごみの焼却には多くの灯油、重油等の化石燃料を使うと思いますが、

　　　　いかがでしょうか。

市民部参事

　　　　　平成２４年度の燃やすごみ焼処理事業の燃料は、重油や灯油ではなく、

　　　　基本的に最初は、都市ガスを使い、その後ごみが燃える熱量で焼却を行

っております。都市ガス代は年間数百万円程度となっていますのでご理解

願います。

委員

　　年間何百万円程度だったら、まだいいんですが、脱水すれば熱量を多く使わなくなると思うのですが、脱水施設はあるのですか。

市民部参事

　　現在のクリーンセンターには、そのような施設はございません。

　ご指摘のとおり、生ごみは余計な熱量を使いますので、市民の皆様には、生ごみはギュッとひと絞りして、水分を減らしていただきますようお願いをしているところでございます。紙類はなるだけ古紙回収に出していただくことも願いをしているところでございます。

ある市内のスーパーでは、雑紙類の重量を自動で計量し、ポイントをつけてくれる機械を設置している所もありますので、このようなところを利用していただき雑紙類を燃やすごみ袋に入れないで資源回収に協力していただきたいと思います。

　　　　会長

　　　　　　予算の問題もあると思いますが、鶴岡方式いうようなことも考えあわせて、

　　　　　予算がこれしかないからという発想ではなく、これからの時代はＣＯ２を

　　　　 出さない、電気も作っていくというような世の中の方向性をよく見据えて、

　　　　 自然や方向性に合った装置なり、方法があると思いますので、よくご検討いただき、知識が必要であれば私も力を貸したいと思いますので、よろしくお願いします。

　　　委員

　　　　　岡山の最終処分場がはじまってから、何年になったか私も定かではあり

　　　　ませんが、満杯になるまであと約２９％ということで予定よりごみ減量によ

　　　　り埋立が遅くなっていることは好ましいことだと思います。今回、また

　　　　新たな第7回の工事をするようですが、この工事の具体的な内容と、何年位

　　　　で満杯になる予定であったのか、今後満杯になったときの計画を教えてください。

市民部参事

　　　　　岡山最終処分場は平成９年４月に供用を開始しております。当初の計画で

　　　　は、平成２４年３月までの１５年間の埋立計画でしたけれど、リサイクルプラザの開設に伴いビニール類などを埋立せずにリサイクルし有効活用する等の延命が図られ、現段階の見通しで平成３１年度位まで埋立できるのではと見込んでいます。今後の新処分場につきましては、ごみの焼却方法と関わりがありますので、その辺も含め検討してまいりたいと考えているところですが、これから先につきましては、今後の検討ということになりますので

　　　　ご理解賜りたいと思います。

課長補佐

　　　　　 土堰堤工事と言いまして、ごみが積み重なっていくことによる崩れを防止するため、土手をかさ上げしていく工事です。９月から工事に入る予定で進めています。

委員

　　 人口が減ることは決して喜べないので、人口が増えてごみが減量になることが好ましいと思っています。岡山処分場については、供用開始前の計画のときから、相当心配をした時代だったと思います。それが今までほとんど問題なく経過していることは良かったなあと思います。ぜひ、内部で努力していただいて、より良い施設管理をしていただきたいと思います。

委員

　　 ごみ有料化制度の導入についてですが、聞いてみますと色々な方がおりますので、ごみ減量・リサイクルにつながるような形で市民への周知、意見交換など導入前に色々な機会をもっていただければありがたいと思います。

市民部参事

　　 内陸地方ではごみの有料化が進んでおりますが、庄内地方では導入されない状況です。ごみの有料化はごみの減量を進める方法の手段であります。ごみ政策というのは、行政ばかりではなく市民の皆様・事業者の皆様のご理解 とご協力いただいて目標達成にむけた課題に取り組めるものであります。

　 現在進めておりますソフト面でのごみ減量リサイクルの推進、また新しい

焼却処理施設の構想については、審議会そして市民に十分説明をさせていただいて、ご理解・ご協力をいただきながら進めてまいりたいと思います。

　　　 繰り返しになりますが、ごみ減量リサイクルの推進の一つの方法論が有料化でありますので、皆様方からもいろいろご指導いただきながら、検討して参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

委員

　　　　 ごみ減量とかリサイクルのいろいろな検討をもっともっと本来の形で

　　　 お願いをします。

委員

　　　　 ごみステーションに回収不能のごみ袋がいっぱい出ている地域というのは、把握しているのでしょうか。

リサイクル推進主査

　　　　 分け方・出し方の基準から外れたごみは、違反ごみということで、ステーションに一定期間留め置きさせていただいています。これは、「もう集めません」というシールではなく、「もう一度正しく分別してから出してください」というお願いのシールとなっています。すべての収集委託業者から違反ごみの状況が報告されますので、状況はつかんでいます。

　　　 旧鶴岡市では、郊外地を除いた各学区は大差なく違反ごみが増加傾向にあります。郊外の上郷地区、斎地区では、昨年度違反ごみが多く大変問題になりましたが、地区をあげて記名制度を導入した結果、今年度に入ってから目を見張るほど違反ごみが減少しています。

　　　　 違反ごみ対策として市では、違反ごみの多いところのステーションで適正な分別のための早朝立哨指導も行っております。

会長

　　　　 ステーションに出される剪定枝、草類については、ほとんど水分が占めているのが実態かと思います。乾燥させてから出すことについて徹底できないものでしょうか。

市民部参事

　　　　 生ごみ水切り、乾燥についてもお願いをしているところですが、合わせて剪定枝、草類についてもお願いしていきたいと思います。本市は東北一広い面積を持ち、その約７２％が森林という立地条件、自然条件ですので一般廃棄物として焼却処分するだけでなくいわゆる木質バイオマスの有効活用というのは、取り組んでいかなければならない検討課題になっています。

委員

　　 剪定枝の話ですが、櫛引にある事業所では、ペレット生産したり、バーク

　 堆肥を生産したり、広葉樹針葉樹を分け５，６年かけじっくり堆肥管理して

　 いるところもあります。多少補助を出しながらこのようなこと取り組みを

　 するのもあるのではないでしょうか。

市民部参事

　　　　 間伐材については、運ぶのに費用がかかるということで、有効活用に向けた運搬については市が補助するという制度も現在実施しておりますし、最近建設しました西郷の農林活性化センターでは、ペレットを使って冷暖房を行っていますし、朝日小学校では、ペレットストーブを使用しています。全庁あげて各担当課で役割を分担しながら取り組みをしているところです。こういうのがあったらいいのではというようなことがありましたら、いろいろ教えていただければと思います。

委員

　　 果樹等の剪定枝を粉砕する能力の大きいシュレッダーの貸し出す制度が

あったらいいのですが。

市民部参事

　　 市が単独では、なかなか難しいと思います。国県の制度を利用して立ち上

げるといった方策もあるかとおもいますので、補助金制度などアンテナを

高くして、情報を収集し研究していきたいと思います。

５．その他

会長

　　 その他何かございませんか。無いようですので議長を降壇させていただき

ます。

６．閉会